

2011年11月4日

新しいユニフォームに身をつつみ、お客様をお迎えます

～東京スカイツリータウン® 開業 200 日前記念～

東京スカイツリー®のユニフォームが決定いたしました。

東武タワースカイツリー株式会社

東武タワースカイツリー株式会社（本社：東京都墨田区）では、東京都墨田区業平橋・押上地区において、2012年5月22日の開業を目指して建設を進めております「東京スカイツリータウン」の中心となる「東京スカイツリー」の展望台等でスタッフが着用するユニフォームを決定いたしました。

今回決定したユニフォームは、ミナ ペルホネン（デザイナー：皆川明氏）デザインで、機能性のみならず、おもてなしの心をお客様に感じていただけるデザイン性も含め、新しい日本の文化を世界に発信していく当プロジェクトに相応しいユニフォームとなりました。2012年5月22日の東京スカイツリータウン開業の際には、スタッフ一同新しいユニフォームに身をつつみ、東京スカイツリーに訪れたお客様をお迎えいたします。

概要については下記の通りです。

記



ユニフォームデザイン

■ユニフォームの決定について

1. 事業者としてのコンセプト

(1) おもてなしの心を表すデザイン

ユニフォームは、東京スカイツリーを訪れたお客様へのサービスの大切な要素の一つであると考えております。お客様が目にして楽しい、期待感あふれるデザインです。

(2) 新しい日本のシンボルとしての先進性や未来感

日本の文化を創出し世界へ発信する東京スカイツリーに相応しく、日本を代表するデザイナーを起用し、従来のユニフォームイメージにはない新しいデザインとなっています。

(3) 機能性の充実

お客様の目に止まりやすいカラーや特色あるデザインを採用し、着用するスタッフの快適性に配慮したユニフォームです。

2. 職種・デザイナー一覧

(1) ディレクター

東京スカイツリーのスタッフを統括いたします。

お客様に安心感と信頼感を与えるブラックのスーツスタイルで、女性はスカーフ、男性はネクタイに東京スカイツリーをデザインしたモチーフのアクセントが特徴です。

(2) 誘導

お客様へのご案内と誘導業務を務めます。

シャツとワンピースにそれぞれプリントされた三角形は東京スカイツリーをイメージしています。ワンピースはお客様の目にとまりやすく、心が軽やかになるイエローとスカイブルーでデザインされています。

(3) インフォメーション

お客様への各種ご案内やお問い合わせにお答えします。

東京スカイツリーの顔となるインフォメーションは落ち着いた色合いとともに東京スカイツリーの伸びやかなイメージを衿のラインで表現し、デザインしました。

(4) チケットカウンター

お客様への展望台チケットの販売業務を務めます。

落ち着いた色合いのワンピースの前面に広がるラインは空高く伸びてゆく東京スカイツリーをイメージしており、印象に残るデザインです。

(5) ショップ

東京スカイツリー内のスーベニールショップで各種グッズの販売を務めます。

ショップに並べられる商品の魅力を引き立てるために落ち着いた色使いと TOKYO SKYTREE の文字をリズムカルにデザインしています。

お客様に居心地の良さを感じていただくための色と麻の自然な風合いでつくられております。



ディレクター



誘導



インフォメーション



チケットカウンター



ショップ

(6) 清掃

東京スカイツリーで清掃業務を務めます。
清掃という業務の枠にとられない、明るい色使いです。清潔感のある白いドットが特徴的な、お客様が目にして楽しくなるようなデザインです。

(7) 駐車場誘導

駐車場における団体バスの誘導業務を務めます。
黄色い帽子が特徴的な、お客様からの視認性を高めたデザインです。



清掃



駐車場誘導



3. 皆川明氏コメント

この東京スカイツリーの制服で一番大切にしたいのは東京スカイツリーの中で時を過ごす全ての人の楽しいという気持ちです。お客様が東京スカイツリーで楽しく過ごす。働く人が楽しく働く。そんな喜びが感じられる制服をつくりたいと思いました。

東京という街が人の活気に溢れ、近隣と世界が交差する都市であり続けることを願ってデザインしました。東京スカイツリーを訪れた時の笑顔と共にこの制服が皆様にとって記憶の景色となればと心より願います。

以 上

■ ミナ ペルホネンについて

1995年、デザイナー皆川明氏によりファッションブランド「ミナ」として設立される。ブランド設立当初より一貫してテキスタイルをオリジナルでデザインし、手描きの図案を、織りやプリント、刺しゅうで表現。国内外の生地産地と連携して素材開発や技術開発にも精力的に取り組む。

ブランド名は、デザイナーがスカンジナビアへの旅を重ねる中で、そのライフスタイルやカルチャーに共鳴するというフィンランドの言葉から取った。「minä」は「私」、「perhonen」は「ちょうちょ」を意味する言葉。身に着けた人がその人らしくあってほしいという願い、また蝶の美しい羽のような図案を軽やかにつくっていきたいという願いを込めている。

現在は家具やファブリック、うつわのコレクションも発表するなど幅広くデザイン活動を行う。これまで発表してきたデザイナーアーカイブは大切に保存され、数多くの生地やパターンが時を経て復刻されている。2006年、毎日ファッション大賞 大賞を受賞。

また、国内外の美術館での展覧会も多く開催されている。2010年9月東京・青山のスパイラルガーデンにて展覧会「進行中」を開催。2011年4月書籍『ミナ ペルホネン?』（ビー・エヌ・エヌ新社）刊。



minä perhonen 2007-08 Autumn / Winter コレクションより

photograph: Yoshiharu Koizumi

©minä perhonen